

イタリア ドバイで有機リンゴを展示 中東市場へ売り込み

FreshPlaza 2024年1月9日

「リンゴのふるさと」と自称する有機生産団体(コンソーシアム)のVOGは、発展する市場と確立されたパートナーシップを有する中東は成長の準備が整っているとしている。同コンソーシアムは、2023年12月12日から14日までドバイで開催された有機・自然栽培農産物展示会に参加した。

中東は、VOGにとってヨーロッパ以外で最も重要な市場の1つである。この地域での有機食品の消費は、もはや単なるトレンドではなく、真の疾病予防の手段である。アジア、アフリカ、ヨーロッパの中間に位置するドバイは、世界市場への玄関口である。

中東・アフリカのバック済み有機食品の市場は、2021年の段階で8億2千万ドルの価値があった。7%の成長を遂げており、2026年までに10億ドルに達すると予想されている。同コンソーシアムは、ロイヤルガラ、グラニースミス、レッドデリシャスなどの品種の有機栽培品や、マリーン®バイオ、バイオスードチロールなどのブランドで、既にこの地域に進出している。現在の目標は、この地域でのプレゼンスを強化し、この分野を発展させることである。

VOGのウェルネル・カスティリョーニ有機営業部長は、「市場には潜在的可能性があり、新しいブランドの立ち上げに投資し、有機栽培品の割合を増やすことでそれを活用することとした。ドバイでのイベントは、我々のネットワークを拡大し、この地域への我々の理解をさらに深めるための重要な戦略的機会であった。その結果は有益であり、潜在的な取引先や顧客と出会い、卸売業者、小売業者、接客業(ホテル、レストラン等)の専門家など、非常に関心の高い来場者に、一年中入手可能な、幅広い品種とブランドの、最高品質の有機栽培リンゴを紹介することができた」と説明する。

同コンソーシアムのアンネス・タウベル販売部長は、「我々はドバイで、有機栽培への投資だけでなく、コミュニケーションへの投資についても話し合った。『リンゴのふるさと』として、我々は弊社のノウハウと専門知識をビジネスパートナーのノウハウと組み合わせ、市場とこの品目の成長を促進する上で積極的な役割を果たす。同時に、店舗を消費者にとってリンゴのあるエキサイティングでカラフルな空間に変貌させることができる魅力的なブランドで、リンゴの訴求力を広げたいと考えている」と話す。

VOGの有機産品は、その生産方法を選択した350の生産者によって栽培されており、コンソーシアムの栽培面積の約10%を占めている。マリーン®バイオとバイオスードチロールのほか、VOGの有機産品には、ピンクレディー®バイオ、カンジ®バイオ、エブリーナバイオ、エンヴィ™バイオなどの非常に人気のある消費者向けブランドや、さらに新しいギガ®バイオ、レッドポップ®バイオ、コズミッククリスプ®バイオなどが揃っている。

最後にVOGのクラウス・ヘルツル営業部長は、「ドバイの展示会は、市場と対話し、足並みを揃える絶好の機会であった。弊社がヨーロッパを主な対象としているとしても、中東はその近さと戦略的重要性から、弊社にとって優先度の高い輸出市場である」と述べた。